

2021年度  
**事業報告**

自 2021年 4月 1日  
至 2022年 3月31日

**一般社団法人 保険者機能を推進する会**

## I 一般社団法人保険者機能を推進する会の概況

### 1. 設立年月日

2001年5月10日(法人登記 2010年12月22日)

### 2. 定款に定める目的

保険者機能の原点は、被保険者・被扶養者のために、

- ・ 良質な医療を確保する
- ・ 保険料を効率的に活用する
- ・ 保健事業に代表される健康づくりを推進する

ことにあり、この実施・実現が保険者の使命である。

本会は、保険者自身が集い、参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- ① 保険者機能に関わる各種調査・研究等
- ② 組合健保の役職員に必要な知識、スキル、モラル向上のための研修等
- ③ 公的医療保険の制度上または運営上の改善、改革を要請する活動等
- ④ 保険者機能を効果的、効率的に発揮するための会員健保組合間並びに関係団体等を含めた連携および共同事業の推進
- ⑤ その他、定款に定める目的を達成するために必要な事業

### 4. 会員の状況

種 類	2022年3月末	2021年3月末	増 減
正 会 員	106組合	108組合	2組合減
準 会 員	1団体	1団体	増減なし

### 5. 事務所の状況

主たる事務所：東京都千代田区神田北乗物町 11 番地 乗物町第一ビル4階

電話番号 03-5577-5411 FAX 03-5577-5413

E-mail [hokensha@kino-suishin.org](mailto:hokensha@kino-suishin.org)

ホームページ <https://www.kino-suishin.org/>

6. 役員等に関する事項（2022年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	現 職
代表理事会長	秋 山 実	非常勤	日本航空健康保険組合 理事長
代表理事副会長	青 山 尚 弘	非常勤	リクルート健康保険組合 常務理事
理事副会長	木村(沼越)園子	非常勤	日本ビューレット・ハッカート健康保険組合 常務理事
理事副会長	篠 原 正 泰	非常勤	富士フィルムグループ健康保険組合 常務理事
理事副会長	鳥 潟 美夏子	非常勤	日本マクトナルト健康保険組合 常務理事
理事副会長	播 磨 俊 郎	非常勤	野村証券健康保険組合 常務理事
理 事	井 坂 徳 雄	非常勤	C & Rグループ健康保険組合 常務理事
理 事	内 田 好 宣	非常勤	日立健康保険組合 常務理事
理 事	岡 良 廣	非常勤	資生堂健康保険組合 常務理事
理 事	北 川 豊	非常勤	パナソニック健康保険組合 常務理事
理 事	小 宗 邦 彦	非常勤	B I J 健康保険組合 常務理事
理 事	小 林 晋	非常勤	キリンビール健康保険組合 常務理事
理 事	新 谷 元 司	非常勤	SG ホールディングスグループ健康保険組合 常務理事
理 事	中 村 喜 幸	非常勤	博報堂健康保険組合 常務理事
理 事	藤 代 勉	非常勤	三菱健康保険組合 理事長
監 事	尾 高 恵 吾	非常勤	ニコン健康保険組合 常務理事
監 事	大 貫 益 枝	非常勤	三越伊勢丹健康保険組合 常務理事

(注1) 2021年度中に就任した理事及び監事

2021年6月22日(書面決議)第22回定時社員総会において、新たに小林晋氏、北川豊氏が理事に、大貫益枝氏が監事にそれぞれ就任しました。

(注2) 2021年度中に退任した理事及び監事

退任日	氏名	退任時の役職
2021年4月30日	加藤進治	理事 パナソニック健康保険組合常務理事

(注3) 特別顧問の委嘱

理事会の議決を得て委嘱された特別顧問が在任中です。

- 特別顧問 武田節夫(初代事務局長)
- 特別顧問 安倍孝治(第3代会長)
- 特別顧問 徳永一夫(第5代会長)
- 特別顧問 小玉道雄(第6代会長)
- 特別顧問 飯住宗広(第7代会長)

## 7. 職員に関する事項

職員数	職種	勤続年数
1名	事務局長	7年

## II 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

#### (1) 事業の概況

2021年度も新型コロナウイルス感染症は収まらず、海外からの変異株の流入による国内における感染者数の急増、医療体制のひっ迫、それに伴い緊急事態宣言が長期化するなどの社会環境により、年度を通じて推進する会の活動は引き続き大きな制約を受けましたが、2020年度後半から取り入れたWebを使用した活動を進めることにより、全国大会、医療保険制度ゼミナール、基礎知識研修会などを本格的に再開することができました。また、研究会についてもWebを使用した活動を深化し、Webのメリットを生かした取り組みも行うことができました。

## (2) 会員数の動向

2021年度末の正会員は前年度末108健保組合であったのに対して、年度中に2組合が減少し106健保組合になりました。準会員は、1団体で増減はありませんでした。

## (3) 財務状況

2021年度の正味財産合計は、前年度から1,188,991円増加し14,904,233円となりました。正味財産のうち、現金預金は前年度から1,188,991円増加し13,814,193円となりました。

経常収益は、前年度から3,257,219円減少し12,433,239円となりました。新型コロナウイルスの影響で前年度の事業活動が大きく制限されたことにより正会員の2021年度年会費を減額したため、会費収入が前年度から3,272,000円減少しました。

経常費用は、前年度から117,729円増加し11,174,248円となりました。前年度との主な差異は下記の通りになります

### ○事業活動費

#### <事業費>

2021年度は全国大会の開催をはじめほとんどの事業をWeb会議システムを利用した実施ができたことにより、前年度実績の16,500円に対し720,148円増加となりました。

### ○管理費

前年度から602,419円減少し10,437,600円となりました。

#### <給与手当・業務委託費>

昨年度まで事務局の人件費を給与手当で計上しておりましたが、今年度より業務委託費での計上に変更しました。給与手当、業務委託費の合計は、前年度から1,145,890円減少し、4,076,450円となりました。昨年度まで事務局の運営補助として派遣スタッフを利用しておりましたが、今年度は利用しなかったことが主な要因です。

#### <システム管理費>

前年度から297,286円増加し1,490,390円となりました。コロナ禍での事業活動推進のため、Zoom(7アカウント)を通年で契約したこと、総会や基礎知識研修会など多人数でのWeb会議実施のため、新たに500名まで対応可能なZoomのオプションを契約したことなどが主な要因です。

#### <レンタル費>

前年度から310,711円増加し692,235円となりました。コロナ禍でWeb会議を利用した研究会活動を促進するため、通年でiPad5台をレンタルしたことが要因です。

#### (4) 研究会活動

2021年度は、前年度に引き続きレセプト・健診データ分析研究会、健診事業のあり方研究会、特定保健指導応用研究会、女性の健康研究会、シニアの健康研究会、たばこ対策研究会、療養費適正化研究会、扶養認定基準研究会の8研究会が設置されました。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して当会としてZoom契約を行った事や各参加健保でのインフラの整備が進んだことなどにより、Web環境での研究会活動も少しずつ軌道に乗り、初のオンライン開催の全国大会においても研究会による成果発表を行うことが出来ました。

##### ◎レセプト・健診データ分析研究会

2021年度研究会では2014 & 2019年度および2015 & 2020年度の特定健診結果をもとに5年間の加入者のリスク変化の見える化(独自健康分布図を作成)をおこなう従来の全体テーマを実施、参加他健保との比較を通じて自健保の課題抽出をおこないました。加えて、コロナ影響分析用ツールを新たに作成し2018-2020年度の各種健診リスクの結果の1年ごとの変化も分析。両テーマともWebでの遠隔とはなりますが、GWでの活発な意見交換により様々な気付きや、新たな分析課題についても議論しました。また、東京大学のアドバイザーの先生方からデータヘルスの動向などのレクチャーやGWについてのご指導をいただきました。

##### ◎健診事業のあり方研究会

厚労省発出の「職域におけるがん検診に関するマニュアル」を基に、がん検診に取り組んで3年目になります。今年度は「検診対象者のプロセス管理」に取り組みました。受診者は把握していても要精密検査者は把握していない、要精密検査者が精密検査を受診したか把握していない、ましてや受診勧奨もしていない、などどこに問題があり、どうすれば一歩前に進めることができるのか、に取り組みました。「やりっぱなし」から脱却して「確実に医療につなぐ」を合言葉に、できない原因を深堀して、できている健保のやり方を共有するなど、「こうすればできるかも」を実例を含めて整理した形でまとめることができました。

##### ◎特定保健指導応用研究会

コロナ禍下で研究会の対面開催が難しく、他健保との接点が激減した中、2021年度の研究会活動を「特定保健指導」の情報収集の貴重な機会ととらえ毎月開催するように努めました。具体的には「Web環境で行える研究会活動とは？」をまず運営委員で考えた上で、Web会議やアンケート等を効果的に活用することで実施方法・保健指導の工夫について情報交換を行い、最終的に「全国大会での発表」という成果を達成できました。またそれ以外の情報交換として、参加健保の事例紹介9健保、委託先業者講演1回、(社)日本保健指導協会、田口敦子先生(慶応大教授)など外部団体との情報交換各1回、Web懇親会1回等を行い、参加者の“他健保メンバーとのつながり”を重視した活動を継続できました。

#### ◎女性の健康研究会

2021年は、2020年に引き続き活動の方向性が定まらない中、コロナ禍の影響により目立った活動は出来ませんでした。それでも、過去の活動からの継続性を意識し、参加メンバーを対象に「女性特有の健康課題」に対するリテラシーの向上を目的として、研究会のアドバイザーである対馬先生にご登壇いただき、Web講演会を実施いたしました。2022年は運営体制を強化し、過去の成果物を活かしつつも、研究会の方向性を明確化し、具体的な活動に落とし込み成果につなげていきたい、と考えております。

#### ◎シニアの健康研究会

高齢者医療制度や納付金、支援金、に関する学びを継続すると共に、東京大学データヘルス研究ユニット特任教授の古井祐司先生をお招きして「健康保険の最適化からみたシニア被扶養者への保健事業のあり方」の講演や参加健保において既に保健事業として実績のあるシニア層(63～74歳)被扶養者向け二事業を複数の健保で共同実施いたしました。一つはシニア層向け健康情報紙「健康かわら版」の共同発行、もう一つは厚労省のモデル事業にもなった健診未受診者への「生活問診アンケート」ならびに「ライフスタイルアドバイスシート」の提供です。2022年度は当該二事業を継続しつつ、新たなテーマにも挑戦してまいります。

#### ◎たばこ対策研究会

職場のたばこ(喫煙)対策の推進を通して「能動喫煙・受動喫煙による健康被害の防止を図ること」「医療費の適正化を図ること」を目的に活動しています。2020年に始まったコロナ禍において、喫煙者および非喫煙者の喫煙に関する行動にどのように変化を与えたかについての調査を行い、日本禁煙科学会の学術総会で発表しました。また、たばこに関する基礎知識をまとめた『たばこ対策コンテンツ集』のアップデートを行い、研究会メンバーの知識向上を目指しました。その他、各健保組合のたばこ対策の現状をまとめた『たばこ対策情報集』を作成して、現状把握や取り組みの情報共有を図りました。

#### ◎療養費適正化研究会

2021年度も研究会として継続的に大きく掲げている『療養費の適切な利用』に向けて、メンバー個々の審査・点検のスキルアップを図るための事例交換を行ったり、慶応義塾大学印南教授等複数の講師をお迎えして、社会保険制度の課題等についての講演、またオンラインによる装具業者の工場見学会・勉強会を実施するなど参加メンバーの知見を増やす活動も多面的に行いました。また、健保加入員への適正受療のための教育・啓蒙用ツールとしてのリーフレットを作成する活動を行いました。

#### ◎扶養認定基準研究会

2021年度は国からの通知の解説や情報共有を中心に活動致しました。「夫婦共同扶養通知」についてメンバーの日々の業務での疑問点などを集約し健保連を通じ国に提言し8月

の同通知に対するQA通知に多く採用されました。また6月に公布された「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正」また8月に発出された保険証の直接交付についてメンバー限定で健保連による説明会を開催いたしました。その他に昨年より扶養認定におけるコロナ特例通知について内容の解説及び対応方法についての勉強会、基幹システムベンダー別の意見交換会など実施いたしました。

#### (5) 第9回保険者機能推進全国大会

「保険者機能の変革を支えるインフラの進化」をテーマに、2021年11月24日に9回目となる保険者機能推進全国大会をWeb開催しました。健康保険組合連合会 佐野雅宏 副会長の祝辞に続き、東京大学未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット 特任教授自治医科大学 客員教授 古井祐司先生より「データヘルスは保険者機能を変革するプラットフォーム」という演題にて基調講演をいただきました。

後半では、「特定保健指導応用研究会」の研究成果の発表、「たばこ対策研究会」「療養費適正化研究会」より外部団体への発表内容のご紹介を行いました。

#### (6) 医療保険制度ゼミナール

医療保険制度ゼミナールは、本会の基本機能である「保険者機能を推進する」を念頭に置いて、厚労省・アカデミア・医療提供・患者・メディア等、医療保険制度を取り巻くステークホルダーに講義をお願いし、それを通じてバランス感を持って発信ができる保険者を育てることを目的としています。本年度は新型コロナの影響を受け、年3回をWeb開催としたうえで、以下の方々に講演をお願いし、講演後の演者と参加者との討議にも力点を置いた活動といたしました。

開催日	開催内容	会場
第26回 8月31日	健保連”次なる一手”～改革工程表への道のり～ (健康保険組合連合会 副会長兼専務理事 佐野 雅宏 氏)	Web開催
第27回 11月30日	政治から見た医療保険制度 ～医療保険の課題～ (参議院議員 医師 梅村 聡 氏)	Web開催
第28回 3月14日	保険者機能を強化するラーニングヘルスシステム (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻・ 世代グローバル研究リーダー育成コンソーシアム 特定准教授 福間 真悟 氏)	Web開催



### (7) 基礎知識研修会

2021年度は感染症対策を取りながらいかにして加入者、加入事業主に変わらないサービスを提供していくかという観点からテレワーク、シンククライアント端末の利用法などの事例を多く取り上げました。また一貫してさらなる効率化に取り組むためのヒントを提供してきました。また2022年度から開催予定の事務長セッションのプレとして事務長間のネットワーク構築の足掛かりとしました。また顔を合わせての会議体が難しい中、オンライン会議システムのグループセッション機能を利用しての少人数によるネットワーキングセッションを開催。参加の皆様の情報交換の場としての機能を果たすことができました。

開催日	開催内容	会場
第1回 4月16日	健保業務の在り方を考える シンククライアント PC の有効活用事例 (TDK 健保、石塚硝子健保、ノバルティス健保) 健康保険組合運営の効率化を考える (資生堂健保、グラクソ・スミスクライン健保)	Web開催
第2回 11月2日	業務効率化プロジェクトから見たこと 進化型 テレワーク 事例発表 (日本ヒューレット・パカード健保) 健保連が考える業務効率化 (健康保険組合連合会 総合企画室 マネージャー 鈴木 俊明氏)	Web開催
第3回 3月29日	組合会における事務長の関与 組合会資料共有と事例発表 (資生堂健保・C&R グループ健保) グループディスカッション 予算組合会 来期予算を立てたときのポイント 医療費の伸び、後期高齢者納付金・支援金などの考え方等	Web開催

### (8) 常務理事ゼミナール

常務理事ゼミナールは、例年担当役員と幹事がファシリテートする形で参加者が自由な意見交換を行い、情報共有や意見交換をする自主勉強会として、原則として毎月1回、2時間枠で開催してきました。2021年度も、2020年度と同様コロナ禍によりWebでの開催となり「保険者マネジメント」、「コラボヘルスの実践」、「データヘルスの実践」といった観点から、健保組合の取り組みを中心に5月、8月、10月、12月、3月の5回開催し、グループ討議主体の意見交換等を行いました。

開催日	開催テーマ	会場
第1回 5月19日	保険者マネジメント コロナ禍を契機に変わる業務運営 ～テレワーク、ペーパーレス、ICT 活用等の実際～	Web開催
第2回 8月25日	コラボヘルスの実践 ① その前提となる、健康管理事業推進委員会等をはじめとした場の設定とその運営 ② 健診～事後措置における事業主との協業と役割分担	Web開催
第3回 10月20日	データヘルスの実践 ① 喫煙対策事業 ② 歯科健診／歯科保健指導における「取組み内容」、「プロセス、アウトプット、アウトカムの各指標の設定」と課題について	Web開催
第4回 12月15日	保険者マネジメント ① マイナンバーカードの取得促進 ② オンライン資格確認の活用・課題	Web開催
第5回 3月16日	コラボヘルスの実践 ① 健康経営への取り組み。事業主との協業 ② ポピュレーションアプローチにおける事業主とのコラボヘルス	Web開催

(9) その他のシンポジウム、研修会、発表会、など

開催日	行事名	会場
8月26日	療養費適正化研修会 ～ 義肢装具に関する研修会 及び 義肢工場見学会 ～ 1. 義肢装具士および補装具費について 2. 質疑応答・事前質問事項の回答 3. リモート工場見学	Web開催
3月24日	2022年度 研究会活動計画発表会	Web開催

## 2. 役員会等に関する事項

開催日	会議名	会場
4月14日	4月正副会長会議	Web開催
4月19日	2021年度第1回(4月)定例理事会 <決議事項> ・Zoomオプション追加の件 ・2021年度第2回(6月)定例理事会開催の件	Web開催
5月17日	5月正副会長会議	Web開催
6月 1日	6月正副会長会議	Web開催
6月 8日	2021年度第2回(6月)定例理事会 <決議事項> ・経理規程一部変更の件 ・第22回定時社員総会(書面決議)のご通知の件 ・2020年度事業報告の件 ・第22回定時社員総会第1号議案(第11期(2020年度)計算書類の件)の件 ・第22回定時社員総会第2号議案(理事2名補充選任の件)の件 ・第22回定時社員総会第3号議案(監事1名補充選任の件)の件 ・研究会への学識経験者・外部事業者参加の件 ・第26回医療保険制度ゼミナール開催の件 ・第9回保険者機能推進全国大会開催の件 ・2021年度第3回(9月)定例理事会開催の件	Web開催
6月24日	第22回定時社員総会(書面決議) <報告事項> ・第11期(2020年度)事業報告の件 ・監事の監査結果報告の件 <決議事項> ・第11期(2020年度)計算書類の件 ・理事2名補充選任の件 ・監事1名補充選任の件	—
7月 5日	7月正副会長会議	Web開催
8月10日	8月正副会長会議	Web開催
9月 8日	9月正副会長会議	Web開催
9月13日	2021年度第3回(9月)定例理事会 <決議事項> ・第9回保険者機能推進全国大会発表研究会決定の件 ・2021年度 第2回基礎知識研修会の開催の件 ・第27回医療保険制度ゼミナール開催の件 ・2021年度第4回(11月)定例理事会開催の件	Web開催
10月 8日	10月正副会長会議	Web開催
11月10日	11月正副会長会議	Web開催

開催日	会 議 名	会 場
11月15日	2021年度第4回(11月)定例理事会 <決議事項> ・2021年度中間決算承認の件 ・第10回保険者機能推進全国大会開催の件 ・研究会リーダー情報共有会の開催報告および2022年度の研究会活動の件 ・2021年度第5回(1月)定例理事会開催の件	Web開催
12月13日	12月正副会長会議	Web開催
1月12日	1月正副会長会議	Web開催
1月17日	2021年度第5回(1月)定例理事会 <決議事項> ・療養費適正化研究会 施術所の見学の件 ・第28回医療保険制度ゼミナールの開催の件 ・2022年度 事業方針の件 ・2022年度 研究会活動及び2022年度設置研究会の件 ・2022年度 医療保険制度ゼミナールの件 ・2022年度 基礎知識研修会の件 ・2022年度 常務理事ゼミナールの件 ・第10回保険者機能推進全国大会開催方針の件 ・2022年度 プロジェクトの件 ・2022年度 事業企画委員会の件 ・2022年度 予算案の件 ・2022年度 事務所休業期間の件 ・2021年度第6回(3月)定例理事会開催の件	Web開催
2月14日	2月正副会長会議	Web開催
3月 2日	3月正副会長会議	Web開催
3月 7日	2021年度第6回(3月)定例理事会 <決議事項> ・第23回定時社員総会議案 第1号議案(2022年度事業計画案の件)の件 第2号議案(2022年度収支予算案の件)の件 ・第24回、および第25回定時社員総会開催の件 ・新入会員承認の件 ・2022年度 第1回基礎知識研修会の開催の件 ・2022年度第1回(4月)定例理事会開催の件	Web開催
3月24日	第23回定時社員総会 <決議事項> ・2022年度事業計画案承認の件 ・2022年度収支予算案承認の件	Web開催

### 3. 重要な契約に関する事項

契 約 先	契 約 内 容	契 約 金 額	契 約 期 間
大竹リース株式会社	事務所賃貸借契約	月額 237,500 円	2019.10.01 から 2022.03.31 まで
リコーリース株式会社	カラー複合機リース契約	月額 16,200 円	2018.02.01 から 2023.01.31 まで
	電話機リース契約	月額 5,200 円	2020.10.01 から 2026.09.30 まで
	フォーティゲート契約	月額 9,800 円	2020.02.01 から 2025.01.31 まで
	LAN フォルダ契約	月額 6,500 円	2022.02.01 から 2027.01.31 まで
リコージャパン株式会社	BBパック契約 LAN フォルダ*	月額 6,800 円	2021.03.01 から 2022.01.31 まで
	BBパック契約	月額 2,800 円	使用開始日 2022.03.31 まで
	リコーひかり契約	月額 500 円	2016.08.01 から 2022.03.31 まで
株式会社法研	業務委託基本契約書覚書	-	2015.10.01 から 2022.03.31 まで
	レンタルサーバ・サービス 契約	年額 500,000 円	2020.04.01 から 2022.03.31 まで
	ウェブサイト保守契約	年額 240,000 円	2017.04.01 から 2022.03.31 まで
	メールサーバ・サービス契約	年額 16,000 円	2019.04.01 から 2022.03.31 まで
株式会社大塚商会	どこでもキャビネット	月額 20,000 円	2018.07.01 から 2022.03.31 まで
ソフトバンク株式会社	Zoom ミーティング* (プロ) 7 契約	月額 17,360 円	2020.11.01 から 2022.10.31 まで
	大規模ミーティング 500(オプション)	月額 5,980 円	2021.06.01 から 2022.05.31 まで
	iPad リース 5 台	月額 30,250 円	2020.11.01 から 2022.10.31 まで

注) 契約金額には消費税を含んでおりません。

#### 4. 財産状態及び正味財産増減の状況並びに収支の推移

(単位:千円)

区 分	第8期 2017年度	第9期 2018年度	第10期 2019年度	第11期 2020年度	第12期 2021年度
資産合計	7,305	7,258	9,312	13,825	15,014
負債合計	161	161	161	110	110
正味財産合計	7,144	7,097	9,151	13,715	14,904
経常収益計	17,169	17,689	19,054	15,690	12,433
経常費用計	17,104	17,666	16,929	11,057	11,174
当期一般正味財産増減額	△5	△47	2,055	4,564	1,189
前期繰越収支差額	4,938	5,270	5,560	7,951	12,515
事業活動収入計	17,169	17,689	19,054	15,690	12,433
事業活動支出計	16,767	17,329	16,592	11,057	11,174
当期収支差額	332	290	2,392	4,564	1,189
次期繰越収支差額	5,270	5,560	7,951	12,515	13,704

### Ⅲ 決算期後に生じた本会の状況に関する重要な事実

特にありません。

2021年度  
**計 算 書 類**

自 2021年 4月 1日  
至 2022年 3月31日

一般社団法人 保険者機能を推進する会

# 貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:円)

科 目	2021年度	2020年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,814,193	12,625,202	1,188,991
流動資産合計	13,814,193	12,625,202	1,188,991
2. 固定資産			
無形固定資産			
ソフトウェア	0	0	0
その他投資等			
事務所保証金	1,200,000	1,200,000	0
固定資産合計	1,200,000	1,200,000	0
資産合計	15,014,193	13,825,202	1,188,991
II 負債の部			
流動負債			
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	39,960	39,960	0
流動負債合計	109,960	109,960	0
負債合計	109,960	109,960	0
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	14,904,233	13,715,242	1,188,991
負債及び正味財産合計	15,014,193	13,825,202	1,188,991



# 正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2021年度	2020年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
受取会費	12,418,000	15,690,000	△ 3,272,000
受取一般事業収入	15,000	0	15,000
受取雑収入	239	458	△ 219
事業収益計	12,433,239	15,690,458	△ 3,257,219
経常収益計	12,433,239	15,690,458	△ 3,257,219
(2) 経常費用			
事業活動費			
総会費	0	0	0
事業費	736,648	16,500	720,148
事業活動費計	736,648	16,500	720,148
管理費			
給与手当	0	4,329,649	△ 4,329,649
業務委託費	4,076,450	892,691	3,183,759
システム管理費	1,490,390	1,193,104	297,286
システム改善費	0	0	0
会議費	0	0	0
交通費	1,824	1,488	336
通信運搬費	253,756	259,516	△ 5,760
事務費	258,632	274,550	△ 15,918
印刷費	65,155	72,249	△ 7,094
水道光熱費	348,500	357,975	△ 9,475
レンタル費	692,235	381,524	310,711
事務所家賃	3,135,000	3,135,000	0
減価償却費	0	0	0
租税公課	31,800	43,300	△ 11,500
雑費	83,858	98,973	△ 15,115
管理費計	10,437,600	11,040,019	△ 602,419
経常費用計	11,174,248	11,056,519	117,729
当期経常増減額	1,258,991	4,633,939	△ 3,374,948
税引前当期一般正味財産増減額	1,258,991	4,633,939	
法人税等	70,000	70,000	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>1,188,991</b>	<b>4,563,939</b>	<b>△ 3,374,948</b>
一般正味財産期首残高	13,715,242	9,151,303	4,563,939
一般正味財産期末残高	14,904,233	13,715,242	1,188,991
II 正味財産期末残高	14,904,233	13,715,242	1,188,991

正味財産増減計算書は企業会計における「損益計算書」に相当する。

## 財 産 目 録

2022年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産) 現金預金	現金	手元保管	運転資金として	48,486
	預金	三菱UFJ銀行神田駅前支店 普通預金 定期預金	運転資金として  7,765,707 6,000,000	13,765,707
流動資産合計				13,814,193
(固定資産)	無形固定資産	ソフトウェア	㈱法研への外注で作成したHP  ソフトウェア取得価額 1,684,800 減価償却額累計 △ 1,684,800 当期減価償却額 0 当期末残高 0	0
				その他固定資産 事務所保証金
固定資産合計				1,200,000
資産合計				15,014,193
(流動負債)	未払法人税等	千代田都税事務所に対するもの	法人住民税均等割	70,000
	預り金	神田税務署に対するもの	事務局の源泉徴収税分	39,960
流動負債合計				109,960
負債合計				109,960
正味財産				14,904,233

### 財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1)リース取引

リース契約 1件当たりのリース料総額が 300万円以下のリース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。

(2)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理については、税込経理方式によっている。

(3)ソフトウェアの減価償却

ソフトウェアは5年均等償却としている。

2. 会計方針の変更

該当なし。

3. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

4. 重要な後発事象

該当なし。

# 収支計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2021年度 決 算 額	2021年度 予 算 額	差 異	2020年度 決 算 額	備 考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 会費収入	12,418,000	12,310,000	108,000	15,690,000	
(2) 一般事業収入			0		
臨時会費(総会)	0	840,000	△ 840,000	0	
臨時会費(事業)	15,000	1,508,000	△ 1,493,000	0	
(3) 雑収入	239		239	458	
事業活動収入計	12,433,239	14,658,000	△ 2,224,761	15,690,458	
2. 事業活動支出					
(1) 一般事業費支出					
総会費支出	0	1,092,720	△ 1,092,720	0	
事業費支出	736,648	3,912,000	△ 3,175,352	16,500	343,550円を管理費より振替
一般事業費支出計	736,648	5,004,720	△ 4,268,072	16,500	
(2) 管理費支出					
給与手当支出	0	0	0	4,329,649	
業務委託費	4,076,450	7,430,000	△ 3,353,550	892,691	343,550円を事業費へ振替
システム管理費支出	1,490,390	1,350,000	140,390	1,193,104	
システム改善費支出	0	250,000	△ 250,000	0	
会議費支出	0	20,000	△ 20,000	0	
交通費支出	1,824	20,000	△ 18,176	1,488	
通信運搬費支出	253,756	288,760	△ 35,004	259,516	
事務費支出	258,632	250,000	8,632	274,550	
印刷費支出	65,155	200,000	△ 134,845	72,249	
水道光熱費支出	348,500	370,000	△ 21,500	357,975	
レンタル費支出	692,235	700,000	△ 7,765	381,524	
事務所家賃支出	3,135,000	3,135,000	0	3,135,000	
租税公課支出	31,800	53,000	△ 21,200	43,300	
雑費支出	83,858	150,000	△ 66,142	98,973	
管理費支出計	10,437,600	14,216,760	△ 3,779,160	11,040,019	
事業活動支出計	11,174,248	19,221,480	△ 8,047,232	11,056,519	
事業活動収支差額	1,258,991	△ 4,563,480	△ 5,822,471	4,633,939	
II 予備費支出	0	1,000,000	△ 1,000,000	0	
III 法人税等支出	70,000	70,000	0	70,000	70,000円未払計上
当期収支差額	1,188,991	△ 5,633,480	△ 6,822,471	4,563,939	
前期繰越収支差額	12,515,242	12,515,242	0	7,951,303	
次期繰越収支差額	13,704,233	6,881,762	△ 6,822,471	12,515,242	

## 収支計算書に関する注記

1. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	前期末残高	差 異
現金預金	13,814,193	12,625,202	1,188,991
合 計	13,814,193	12,625,202	1,188,991
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	39,960	39,960	0
合 計	109,960	109,960	0
次期繰越収支差額	13,704,233	12,515,242	1,188,991

2. 科目間の流用及び予備費の使用

(1) 科目間の流用

(単位：円)

科 目	予 算 額	科目間流用額	流用後予算額	備 考
管理費－業務委託費	7,430,000	△ 149,022	7,280,978	システム管理費支出へ流用 140,390
				事務費支出へ流用 8,632
管理費－システム管理費支出	1,350,000	140,390	1,490,390	業務委託費より流用 140,390
管理費－事務費支出	250,000	8,632	258,632	業務委託費より流用 8,632
差 引	9,030,000	0	9,030,000	

(2) 予備費の使用

該当なし。

## 監査報告書

2021年4月1日から2022年3月31日までの第12期事業年度における理事の職務の執行の状況、本会の業務並びに資産及び会計の状況を監査いたしました結果、次のとおり報告します。

### 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席して理事及び事務局から職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、正副会長会議資料などの重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等について検討した。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類等は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しています。

2022年5月27日

一般社団法人保険者機能を推進する会

監 事 尾高 恵吾

監 事 大貫 益恵